

News Release



平成 28 年 3 月 31 日

各報道機関文教担当記者 殿

金沢大学ブランド人材の育成のための新たな基幹教育を担う 4/1「国際基幹教育院」が始動！

このたび、金沢大学では、金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS) に基づく「金沢大学ブランド人材の育成」を行うため、従来の共通教育科目を大幅に改編したカリキュラムによる基幹教育を実施する **「国際基幹教育院」を平成 28 年 4 月 1 日に設置します。**

については、**下記のとおり看板除幕式を行いますので、当日の取材・事前報道をよろしくお願ひします。**

記

国際基幹教育院 看板除幕式

日 時：平成 28 年 4 月 1 日(金) 14:00～

場 所：金沢大学総合教育 1 号館玄関 (角間キャンパス)

※別紙地図参照 (角間北地区 B 駐車場をご利用ください)

出席者：山崎光悦 学長

柴田正良 理事 (教育担当)・副学長

大竹茂樹 国際基幹教育院長 外

※ 看板除幕式に引き続き、**国際基幹教育院の概要について説明を行います。**

※ 国際基幹教育院には、教員の所属する 3 つの系と部門「GS 教育系 (GS 教育部門)」、「外国語教育系 (外国語教育部門)」、「高等教育開発・支援系 (高等教育開発・支援部門)」を持ちます。また、本教育院所属以外の教員の協力による「国際教育部門」、「リメディアル・基礎科目教育部門」で構成されます。(詳細は配付資料のとおり)

○GS 教育系 (同部門)：GS 科目の提供等

○外国語教育系 (同部門)：GS 言語科目及び初習言語科目の提供等

○高等教育開発・支援系 (同部門)：大学教育の質保証等の協力

【問い合わせ先】

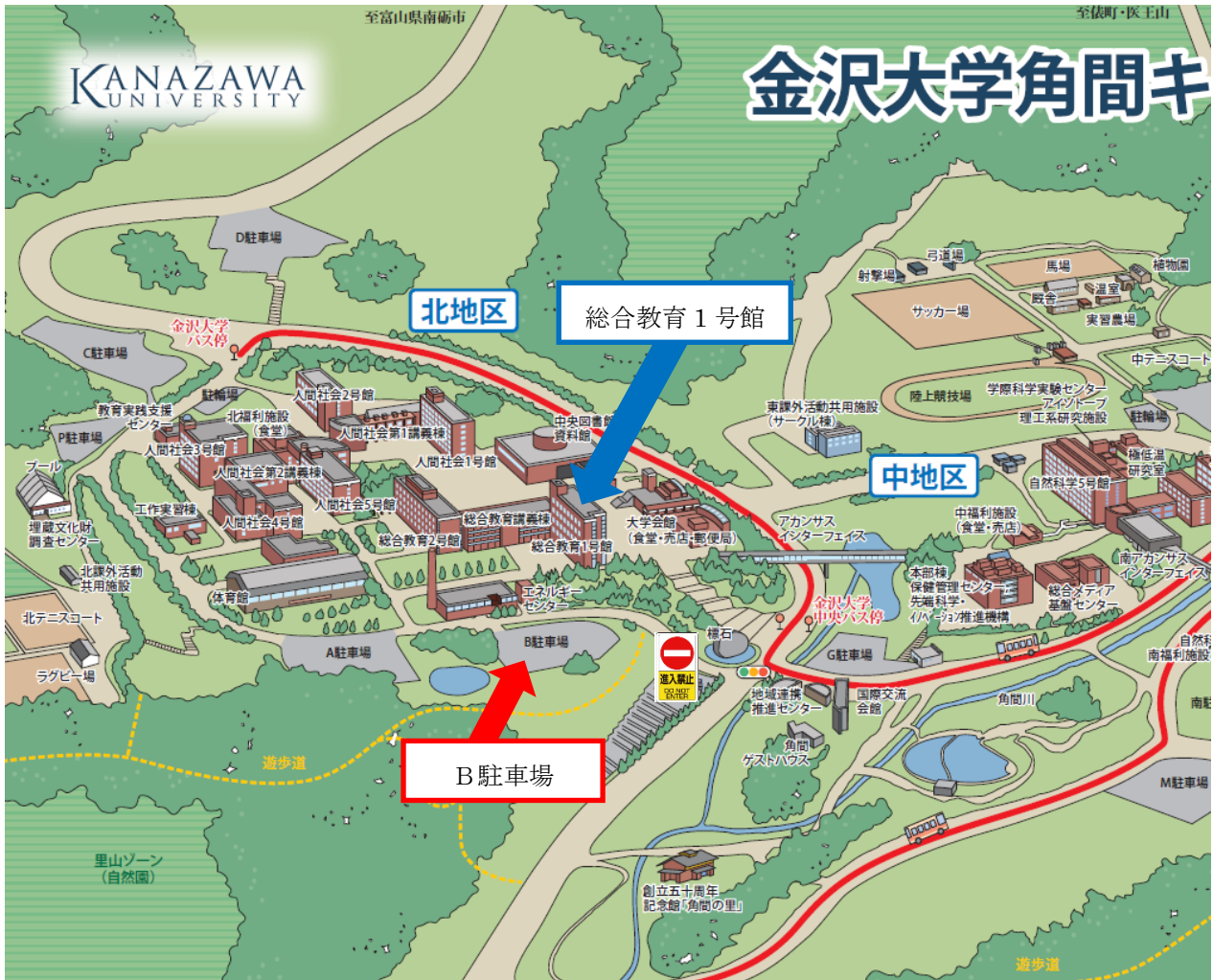
金沢大学学生部基幹教育支援課長 上谷
TEL：076-264-5934

【広報担当】

金沢大学総務部広報室 本庄
TEL：076-264-5024

アクセス地図

総合教育 1 号館及びB 駐車場



国際基幹教育院の組織体制

【目的】 ◆金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に基づく、学士課程～大学院課程における
基幹教育(学士課程, 修士課程及び博士課程それぞれの教育の基盤をなす教養的教育)を推進

<手段>

- 総合教育部(仮称)に所属する学生に対する履修指導・修学指導等
- KUGSを基軸とした全学的な(学士～大学院)基幹教育に関する企画及び実施
- 留学生の初習教育や教育プログラムに関する企画及び実施
- 教育の質の向上及び保証のための研究開発 などを行う



国際基幹教育院

提言・指導

基幹教育管理運営委員会

教授会議

代議員会

- 【審議事項】
- ・ 教育院長の候補者の選考に関する事項
 - ・ 所属教員の人事及び選考に関する事項
 - ・ 教育院における予算の執行に関する事項
 - ・ 教育院の運営に関する重要事項 等

その他の組織

スキルアップセンター

共通教育委員会

教育(学生)

総合教育部(仮称) 【H30年度～】

文系/理系一括入試で入学した者が、
1年次に一時的に所属する組織

- ※学生定員は持たない
(設置基準上の「学部」ではない)
- ※入学(収容)定員管理は 各学域・
学類において行う

基幹教育部分

導入科目, GS科目, GS言語科目,
学域GS科目, 学域GS言語科目,
基礎科目, 教職科目, 自由履修科目,
大学院GS科目

教育
(科目)
提供

教育
支援

GS教育部門

※教育企画・実践部門の業務に従事する
教員の一部にローテーション制度を導入

GS科目担当グループ
(30グループ)

外国語教育部門

英語科目担当グループ 初習言語科目担当グループ

国際教育部門

日本語科目担当グループ

リメディアル・基礎科目教育部門

基礎科目担当グループ

高等教育開発・支援部門

※必要に応じ部門会議を置く

教員

(GS科目
担当教員)

GS教育系

(GS科目専任教員)

GS科目専任教員のほか、GS科目担当教員が業務に当たる

外国語教育系

外国語教育系の教員のほか、学内の関係教員が業務に当たる

国際機構(留セ)の教員が業務に当たる

学内の日本語教育等担当の教員が業務に当たる

学内の基礎教育等担当の教員が業務に当たる

高等教育開発・支援系

※各系に系会議を置く

学域・学類

研究科

研究域・系

研究所・機構・センター等

金沢大学憲章で掲げる教育目標

**専門知識と課題探求能力,
さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成**

具体化



金沢大学 <グローバル> スタンダード



グローバル化が不可逆的に進行する現在の国際社会において大学憲章に掲げる基本的な教育目標を実現するために、本学が育成する人材の具体的な姿

各人の立ち位置に課された人類の一員としての自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的なリーダーとなって、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける次の能力・体力・人間力を備えた人材を育成する。

1. 自己の立ち位置を知る
2. 自己を知り、自己を鍛える
3. 考え・価値観を表現する
4. 世界とつながる
5. 未来の課題に取り組む



各学類・専攻のAdmission Policy, Curriculum Policy, Diploma Policyの見直し



金沢大学ブランドの教育の実現

H28年度から

1年次に履修する共通教育科目

コアパッケージ	導入科目	GS科目	GS言語科目
	4科目 (4単位)	30科目から (15単位)	英語：8科目 (8単位)
自由履修科目		学域・学類指定科目	
人間力強化プログラム ・地域「超」体験プログラム ・海外派遣プログラム その他開講科目 (教職科目等)		初習言語科目	基礎科目

- ◆学生の好き嫌いで科目を選ぶのではなく、
全員が**金沢大学**として必ず身につけるべき内容を学修
- ◆原則全てのGS科目は**アクティブ・ラーニング** (※) とする
→**学生の自学自習**を促す

※アクティブ・ラーニング

課題研究やディスカッション、プレゼンテーション等、学生の能動的な学修を取り込んだ授業の総称

H27年度まで

H28年度から

約300科目の共通教育科目 → **30のGS科目**に集約

GS科目一覧

1.自己の立ち位置を知る	2.自己を知り、自己を鍛える	3.考え・価値観を表現する	4.世界とつながる	5.未来の課題に取り組む
現代世界への歴史学的アプローチ	哲学(自我論)	プレゼン・ディベート論 (初学者ゼミⅡ)	金沢・能登と世界の地域文化	科学技術と科学方法論
グローバル時代の政治経済学	パーソナリティ心理学	クリティカル・シンキング	日本史・日本文化	統計学から未来を見る
グローバル時代の社会学	グローバル時代の文学	価値と情動の認知科学	異文化間コミュニケーション	情報の科学
ケーススタディによる応用倫理学	健康科学	論理学から見る世界／数学的発想法	異文化体験	環境学とESD
地球生物圏と人間	細胞・分子生物学	芸術と自己表現	国際社会とボランティア	生活と社会保障
物理の世界／化学の世界	エクササイズ&スポーツ 実技	スポーツ科学	グローバル社会と地域の課題	人権・ジェンダー論

H27年度まで

H28年度から

「英語 I」 → 「GS言語科目」

4技能を実践的にトレーニング
⇒より“使える”英語を身に付ける

期末試験として、
全員TOEICを受験

EAP

(English for Academic
Purposes)

大学で学修、研究するための
ツールとしての英語

GOAL

- 英語で行われる講義を理解する
- 留学先で生活・勉強する

TOEIC準備

コミュニケーションツールと
しての英語

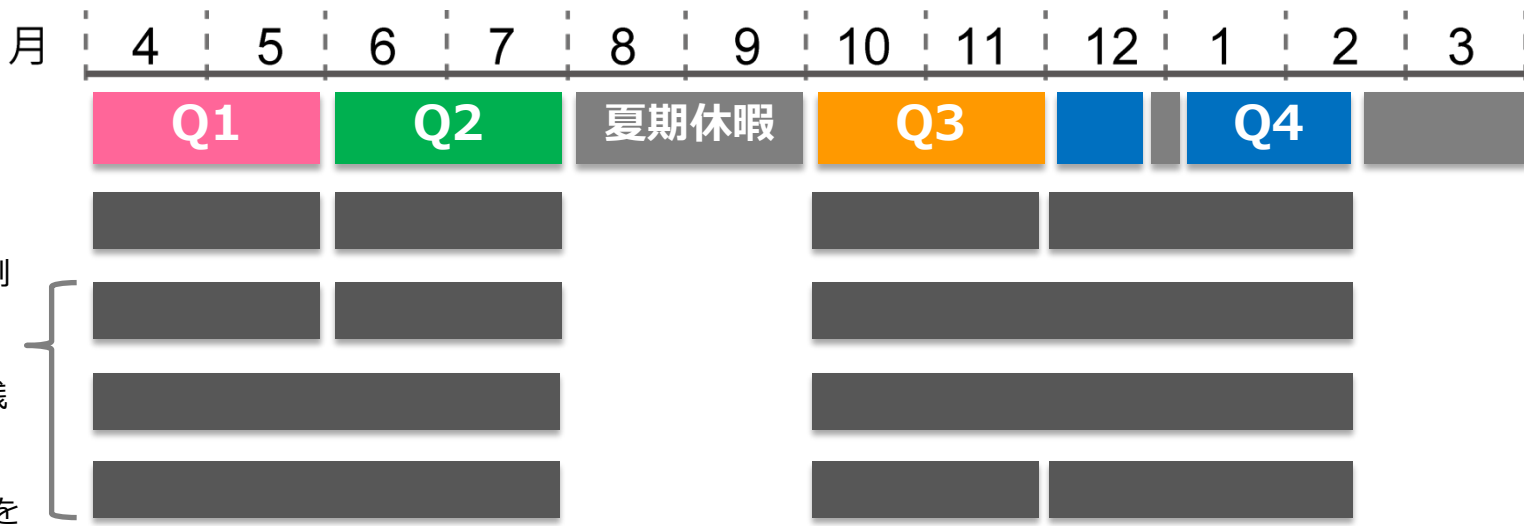
GOAL

- 研究室で外国人と一緒に研究する
- 将来職場で外国人と接する

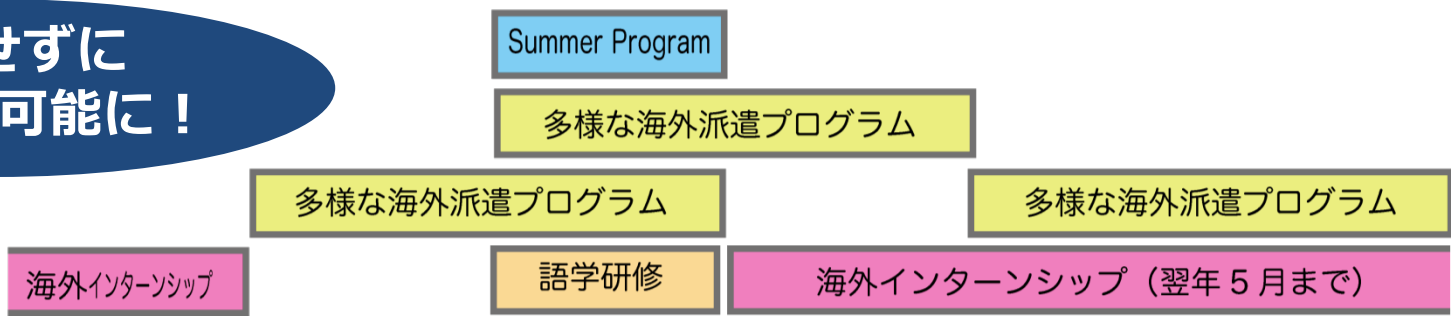
H28年度から

クォーター制を導入

(開講のイメージ)



**留年せずに
留学等が可能に！**



カリキュラムの見直し「基幹教育」の強化

◆H28年度からのクォーター制導に向けて、学士課程・大学院課程それぞれの基盤をなす教養的教育(基幹教育)の強化を、共通教育・各学域学類・各研究科で行った。

